

答申第58号
令和7年8月8日

高崎市教育委員会教育長 様

高崎市情報公開及び個人情報保護審査会
会長 阿部 圭司

高崎市情報公開条例第19条第1項の規定に基づく諮問について（答申）

別表の項番1から2の（い）欄に記載の年月日にそれぞれ諮問のありました下記
審査請求について、併合して別紙のとおり答申します。

記

諮問番号：諮問第242号、第243号

令和2年1月18日付け（第287-1号）「行政文書不存在決定」

令和2年1月18日付け（第287-2号）「行政文書不存在決定」

に係る審査請求

別紙

諮問番号：諮問第242号、第243号

答申番号：答申第58号

答 申 書

第1 審査会の結論

高崎市教育委員会教育長が行った決定は妥当である。

第2 諮問事案の概要

1 行政文書公開請求

審査請求人（以下「請求人」という。）は、別表の項番1から2の（う）欄に記載の年月日に高崎市情報公開条例（平成14年高崎市条例第42号。以下「条例」という。）第6条第1項の規定に基づき、高崎市教育委員会教育長（以下「実施機関」という。）に対し、別表の項番1から2の（え）欄に記載の旨の行政文書公開請求（以下「本件各請求」という。）を行った。

2 実施機関の決定

実施機関は、本件各請求に係る行政文書（以下「本件各行政文書」という。）について、別表の項番1から2の（か）欄に記載の年月日にそれぞれ行政文書不存在決定（以下「本件各処分」という。）を行い、別表の項番1から2の（き）欄に記載の決定理由を付して請求人に通知した。

3 審査請求

請求人は、行政不服審査法（平成26年法律第68号）に基づき、本件各処分を不服として、実施機関に対し、別表の項番1から2の（く）欄に記載の年月日に審査請求（以下「本件各審査請求」という。）を行った。

4 弁明書の送付

実施機関は、行政不服審査法第9条第3項において読み替えて適用する同法第29条第2項の規定に基づき、別表の項番1から2の（け）欄に記載の年月日付で弁明書を請求人に送付した。

5 反論書の提出

請求人は、行政不服審査法第9条第3項において読み替えて適用する同法第30条第1項の規定に基づき、別表の項番1から2の（こ）欄に記載の年月日に反論書を提出した。

第3 当事者の主張

1 請求人の主張要旨

請求人は、審査請求書、反論書において、おおむね別表の項番1から2の(す)欄に記載のとおり主張している。

2 実施機関の主張要旨

実施機関は、弁明書並びに令和7年1月29日の当審査会における説明において、おおむね別表の項番1から2の(せ)欄に記載のとおり主張している。

第4 審査会の判断

第242号の本件請求文書のうち、項目1及び項目2については、条例第2条第2号(ア)の書籍又は(イ)の資料に該当するものと認められる。また、項目3、項目4及び項目5については、高崎市教育委員会が理由を記した文書を作成していないことは明らかであり、本件行政文書は存在しないと認められる。

第243号の本件請求文書のうち、項目1については、高崎市教育委員会が理由を記した文書を作成していないことは明らかであり、本件行政文書は存在しないと認められる。また、項目2については、条例第2条第2号(イ)の資料に該当するものと認められる。

したがって、本件各行政文書が不存在であるとした本件各処分に違法はない。

以上のことから、本件決定について、「第1 審査会の結論」とおり判断する。

第5 審査会の要望

当審査会は、実施機関が行った決定について妥当であると判断したものであるが、今後実施機関が公開請求に係る行政文書の決定を通知するに当たり、行政文書が存在しない場合は、該当条項の記載に加え、行政文書が存在しない理由を、それぞれ記載するよう要望する。

審査会の経緯（行政文書公開請求）

年 月 日	審 理 経 過 等
別表項番 1 (い)欄の 各日付	諮問
令和 7 年 1 月 2 9 日	実施機関説明 調査、審議
令和 7 年 3 月 1 2 日	併合審議決定、調査、審議
令和 7 年 6 月 2 6 日	答申調整
令和 7 年 8 月 8 日	答申

高崎市情報公開及び個人情報保護審査会委員

会 長	阿部 圭司
委 員	有賀 長規
委 員	猪岡 真也
委 員	本島 久仁倫
委 員	池田 貴明